

ヤマネ
国の天然記念物。18g程の冬眠するネズミ。
山形県では絶滅危惧Ⅱ類に指定。

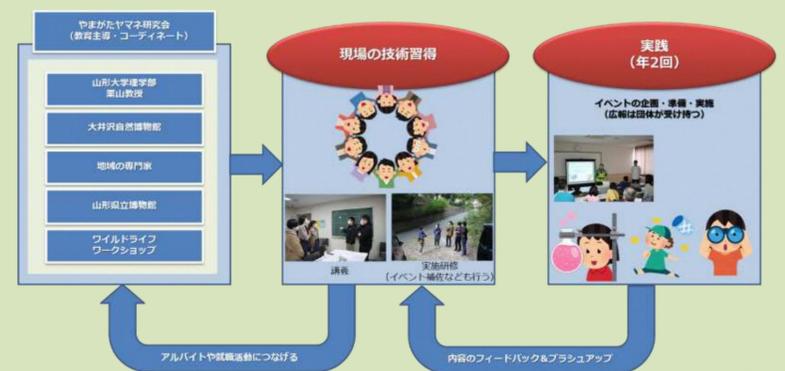
『やまがたヤマネ研究会』とは…？

持続可能な山形の自然環境と未来の自然環境を担う若者や子どもたちのために、野生動物の生態調査と研究結果を生かした環境教育を行っています。専門家任せで遠い存在の『野生動物』や『自然』を身近に感じ、一人一人がほんの少しのアクションで地域の自然の問題を解決できる山形を目指して、地域環境の‘今’を知るきっかけづくりの場を提供しています。

『現場で学べる＆活かせる大学生への環境教育研修及び実習』

本事業の目的は、直近の担い手となる大学生の環境教育スキルの育成を目的としています。具体的には、以下の内容を実施します。

- ①大学生に対する環境教育の技術研修（月3～5回）
- ②大学生起案による環境教育の実施（年2回）



最終目標としては、学生の継続的なボランティア・インターン・アルバイト活動に山形県内の環境教育現場を取り入れてもらい、将来の就職活動にも活かしてもらいます。このことが実現することで、大学生が将来現場に立った時に、現在の現場で働く専門家の方とのつながりも容易に構築でき、ネットワークの広がりを生むことができます。また、環境教育に参加した子供たちにとっても将来このような技術習得や経験が積むことができることへのPRにつながり、継続的な人材育成が見込め、山形県内のESD活動推進の一助を担えるものと思っています。

活動① 大学生に対する環境教育の技術研修



専門家の協力のもと、下記の活動について月3～5回程度活動しています。

1. 環境教育の現状についての講義
2. グループワークによるイベント企画
3. イベント補佐による現場実習

活動② 大学生起案による環境教育の実施



学生自らがイベントを企画・運営・実行します。現在11月末の発表に向けて2つの企画チーム（『山形大学理学部紹介実験イベント』・『団体開発ゲームのPR用CMの作成班』）が活動しています。各内容や予算に合わせて、学生主導で企画から実行まで行います。

活動の感想と今後の展開

○ 多くのステークホルダーと協力しながら、新型コロナウイルス下での技術研修を行うことができました。一方で、当初夏に予定していた大学生起案による環境教育の実施がコロナウイルス感染拡大により中止となり、11月に延期となりました。現在、本番に向けて準備を進めている大学生をサポートしています。また、各方面の専門家の方を招聘することで、大学生のみならず、参加の子ども達やそのご家族への山形の自然環境の現状を学んでいただけるきっかけづくりができました。

○ 参加大学生から「座学と実習では学べる内容が異なり、将来の進路への参考になる」「具体的な技術や安全管理への意識が育った」「子供だけではなく、保護者を通じて学びを広げることができることに気づいた」という声を聴いています。また、協力・共同団体・企業からは翌年の協力意向も頂いています。